

市民交流プラザ事業部



© Keigo Sadahisa (doppietta)

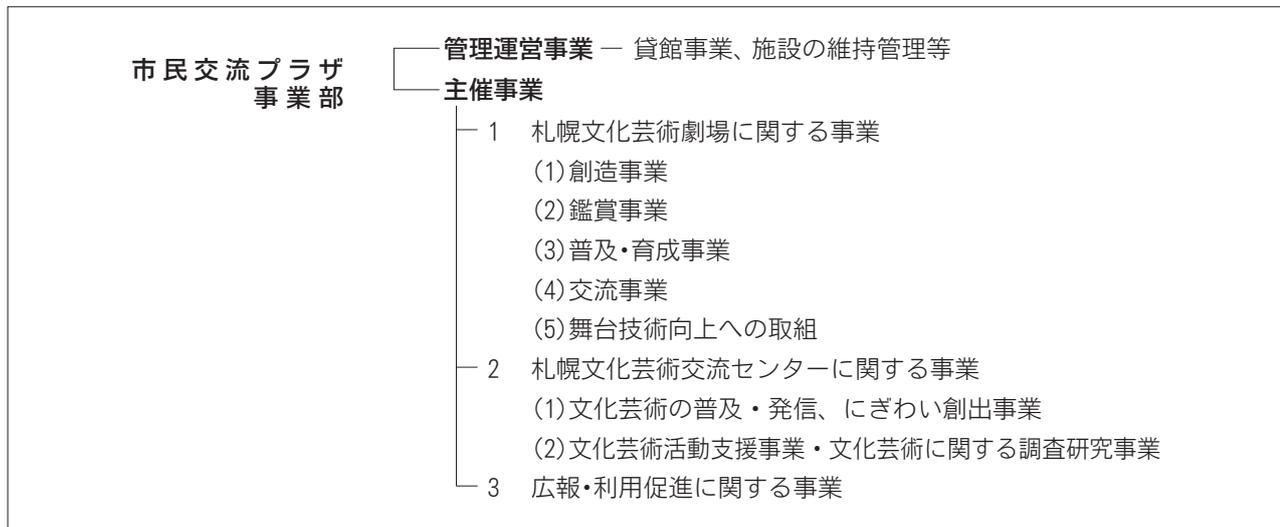
Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX~New World~
令和7年2月9日(日)

市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	87.7%	92.4%	85.1%
		利用料金収入	181,079,760円	196,633,370円	182,521,770円
	クリエイティブ スタジオ	利用率	86.0%	93.5%	91.2%
		利用料金収入	19,927,890円	27,502,610円	25,910,190円
練習室等	利用率	73.5%	85.9%	87.8%	
	利用料金収入	11,133,750円	13,570,360円	13,424,350円	
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	76.9%	87.9%	94.0%
		利用料金収入	16,201,800円	20,656,000円	17,820,260円
利用料金収入合計			228,343,200円	258,362,340円	239,676,570円
総入場者数			481,099人	698,691人	671,748人
総来館者数（札幌市図書・情報館含む）			1,196,687人	1,523,758人	1,561,125人

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

令和5年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール（1,000席以上）：60.3% 小ホール（500席未満）：55.1%

（出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和6年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」）

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、地元の芸術団体や若手芸術家との共同により、札幌発の舞台芸術を創造・発信し、地域の創造性の向上に取り組んだ。

①hitaru オペラプロジェクト モーツァルト
「ドン・ジョヴァンニ」

札幌文化芸術劇場 hitaru が、地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaru を舞台としたオペラを創造・発信する hitaru オペラプロジェクト。第2回となる今回の公演では、国内外のオペラで注目を集める園田隆一郎指揮、栗國淳演出で、モーツァルトの名作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」を上演した。また、幅広い客層にアピールするため、札幌出身の漫画家 カスカベアキラとのコラボレーションによる登場人物のキャラクター化、4コママンガ作品での情報発信や、マスコットキャラクターによる広報を実施したほか、札幌市図書・情報館、札幌コンサートホール Kitara と広報連携を行った。加えて、音楽スタッフ育成のため、アシスタントピアニスト及び音楽アシスタントの公募を実施した。



撮影：n-foto LCC

期 日：令和7年3月7日（金）開演18:00
令和7年3月9日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会

出 演：園田隆一郎（指揮・フォルテピアノ）

栗國淳（演出）

栗原峻希（ドン・ジョヴァンニ）

大塚博章（騎士長）

針生美智子（ドンナ・アンナ）

荏原孝弥（ドン・オッターヴィオ）

倉岡陽都美（ドンナ・エルヴィーラ）

岡元敦司（レポレッコ）

栗野伶惟（マゼット）

高橋茉椰（ツェルリーナ）

hitaru オペラプロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」合唱団（合唱）

札幌交響楽団（管弦楽・バンダ）

山岸匡彦、成田桃太郎、土屋諒成、福士直太郎（助演）

協 力：一般社団法人 北海道二期会、NPO法人 札幌室内歌劇場、LC アルモーニカ、札幌オペラシンガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学

入場料：全席指定

3月7日（金）

S席 14,000円、ペアS席（平日）26,000円、
A席 11,000円、ペアA席（平日）20,000円、
B席 8,000円、C席 6,000円、D席 5,000円、
U25（各席、S席を除く）2,000円

3月9日（日）

S席 14,000円、ペアS席（休日）27,000円、
A席 11,000円、ペアA席（休日）21,000円、
B席 8,000円、C席／6,000円、D席 5,000円、
U25（各席、S席を除く）2,000円、

パーシャル・ビュー A席* 10,500円、

パーシャル・ビュー ペアA席* 20,000円、

パーシャル・ビュー A席 U25* 1,800円

*3月9日（日）当日券のみの取り扱い

入場者数：7日（金）1,257人、9日（日）1,706人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<関連事業>

モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」 合唱オーディション

hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」の合唱の起用にかかり、オーディションを実施した。

期 日：令和6年4月13日（土）開始9:30

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：一般社団法人 北海道二期会、NPO法人 札幌室内歌劇場、LCアルモーニカ、札幌オペラシンガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学

募集人数：ソプラノ+アルト 計12人、テノール+バス 計12人

審査員：「ドン・ジョヴァンニ」公演副指揮、札幌市民交流プラザ館長、札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー

参加料：無料

応募者数：31人

<関連事業>

若手音楽家のための稽古見学会（音楽稽古）

hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」のマエストロ音楽稽古（原語指導付き）の様子を、若手音楽家を対象に公開した。

期 日：令和6年9月27日（金）～29日（日）

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

稽古内容：園田隆一郎による音楽稽古
（エルマンノ・アリエンティによる原語指導を含む）

応募資格：大学・大学院や短期大学でピアノ・声楽・指揮等の音楽の専門教育を現在受けている学生または卒業生及び同等の実力を有する方で、満18歳以上30歳以下の若手音楽家。

参加費：無料

見学者数：延べ11人

<関連事業>

演出稽古見学会

hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」の演出稽古の様子を、札幌市民交流プラザメンバーズ、hitaru オペラプロジェクト協力団体を対象に公開した。



期 日：令和7年1月10日（金）

①粟國淳(演出家)によるトーク 開始17:30

②演出稽古見学 開始18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

対 象：札幌市民交流プラザメンバーズ
hitaru オペラプロジェクト協力団体

参加費：無料

見学者数：116人

<関連事業>

「ドン・ジョヴァンニ」への誘い
～ハイライト・コンサート

hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」にカヴァーキャストとして参加している歌手によるコンサートを開催した。モーツァルト珠玉のアリアをはじめ「ドン・ジョヴァンニ」の魅力コンパクトに凝縮し、日本語のセリフを交えながら、作品のストーリーを分かりやすく紹介した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年1月19日（日）開演15:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：栗辻聡（指揮）

大野浩司（ドン・ジョヴァンニ）

増田享子（ドンナ・アンナ）

長倉駿（ドン・オッターヴィオ）

石岡幸恵（ドンナ・エルヴィーラ）

三輪主恭（レポレッコ）

小野寺陸（マゼット）

金井知那実（ツェルリーナ）

小林エレキ（天の声）

吉泉善太（ピアノ）

構 成：栗國淳

演出・台本：三輪栞

曲 目：<第1幕>

1. 第2曲 二重唱「去って！私も死なせて！」（ドンナ・アンナ、ドン・オッターヴィオ）
2. 第3曲 アリア「誰か教えて、不実な人はどこに？」（ドン・ジョヴァンニ、

レポレッコ、ドンナ・エルヴィーラ）

3. 第4曲 アリア「奥さま、この帳面は、主人が愛した女性の目録です」《カタログの歌》（レポレッコ）
4. 第6曲 アリア「わかりました、旦那様」（マゼット）
5. レチタティーヴォ 「一時も、無駄にはできません」
—第7曲 小二重唱「あそこで、手を取り合い」《お手をどうぞ》（ドン・ジョヴァンニ、ツェルリーナ）
6. 第10曲 アリア「私の貞操を脅かし、父を奪った者が、誰か分かりました」（ドンナ・アンナ）
7. 第11曲 アリア「酒で理性を失うほどの、大宴会にしよう」（ドン・ジョヴァンニ）
8. 第13曲 フィナーレ抜粋「恐れるがいい、極悪人！」（全員）

<第2幕>

9. 第14曲 二重唱「いい加減にしろ！しつこいぞ！」（ドン・ジョヴァンニ、レポレッコ）
10. 第16曲 カンツォネッタ 「愛しい人よ、窓辺に現れ」
《ドン・ジョヴァンニのセレナード》（ドン・ジョヴァンニ）
11. 第18曲 アリア「いい子にすれば」《薬屋の歌》（ツェルリーナ）
12. 第21曲 アリア「君たちは、私の大切な人を」（ドン・オッターヴィオ）
13. 第21b曲 レチタティーヴォ・アッコンパニャートとアリア「悪い人、どれだけ罪にまみれているの—あの人は、私を裏切ったの」（ドンナ・エルヴィーラ）
14. 第24曲 フィナーレ抜粋「旦那さま…ここから出ないで下さい」（ドン・ジョヴァンニ、レポレッコ）
15. 第24曲 フィナーレ抜粋「愛する人よ、神の復讐が下りました」（ドンナ・アンナ、ドンナ・エルヴィーラ、ツェルリーナ、ドン・オッターヴィオ、レポレッコ、マゼット）

入場料：全席指定 一般 1,000円、U25 500円

入場者数：1,056人

市民交流プラザ事業部

主催事業

②Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX ～New World～

新感覚パフォーミングアーツ公演として、地元のアーティストとともに創造する「Creative Art Mix」シリーズの3年間の集大成公演を劇場で開催した。

「愛/AI」をテーマに人類の進化の変遷を描き出す5つのシーンで構成し、斬新な編曲、多様なジャンルのダンス、映像演出などにより、多様なアートのコラボレーションを披露した。



撮影：Keigo Sadahisa (doppietta)

期 日：令和7年2月9日（日）開演15:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：小野健悟（編曲／サクソ）
DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST（編曲／DJ）
倉岡陽都美（ソプラノ）
郷翠（クラシックバレエ）
西野留以（ストリートダンス）
鈴木明倫（コンテンポラリーダンス）
髪立ツカサ（舞踏）
坪田みなみ（ジャズダンス）
菊地研（クラシックバレエ）
岡本育美（サクソ）
長谷川加奈（ヴァイオリン）
今井佑佳（ヴィオラ）
荒川剛（ギター）
林佳一郎（ピアノ・キーボード）
青木務（ベース）
酒井颯太（ドラム）
Fe.dance studio

DANCE STUDIO LoRe

Dance Studio mind（舞人）

プログラム：<Society1.0 hunting society>

1. スメタナ 連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
<CLASSICAL～HIP HOP arrange>
2. ボロディン オペラ『イーゴリ公』より「韃靼人の踊り」
<CLASSICAL arrange>

<Society2.0 agricultural society>

3. ドリーブ オペラ『ラクメ』より「花の二重唱」<POP arrange>
4. グリーグ『ペールギュント 第1組曲』より「朝」<CLASSICAL arrange>
5. ベートーヴェン 交響曲第9番二短調「合唱付き」より第4楽章（「歓喜の歌」）
<R&B/SOUL arrange>

<Society3.0 industrial society>

6. スッペ オペレッタ『軽騎兵』より序曲
<JAZZ arrange>
7. ビゼー オペラ『カルメン』より「恋は野の鳥」（「ハバネラ」）
<CLASSICAL arrange>
8. ラヴェル「ボレロ」
<TECHNO arrange>

<Society4.0 information society>

9. ラフマニノフ「ヴォカリーズ」
<R&B/SOUL arrange>
10. ショパン「革命のエチュード」
<ELECTRONIC arrange>
11. バンドメドレー（バッハ「トッカータとフーガ 二短調」ほか）
<ROCK/CLUB JAZZ etc. arrange>

<Society5.0 singularity ～NEW WORLD～>

12. リヒャルト・シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」
<CLASSICAL arrange>
13. ワーグナー オペラ『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」
<CLUB arrange>
14. ホルスト 組曲『惑星』より「火星」

「木星」<JAZZ arrange>

15. レオンカヴァッロ オペラ『道化師』より「衣装をつける」

<METAL arrange>

16. プッチーニ オペラ『トゥーランドット』より「だれも寝てはならぬ」

<HEALING arrange>

17. ドヴォルジャーク 交響曲第9番 ホ短調「新世界より」第4楽章

<METAL arrange>

入場料：全席指定 一般 前売 2,500円、当日 3,000円
U25 前売 1,000円、当日 1,500円

入場者数：1,083人

<関連事業>

Creative Art Mix Dance Workshop 2024

ダンスの楽しさ、ジャンル、出演者、公演への興味を持ってもらうことを目的に、「Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX~New World~」の出演ダンサーを講師に迎え、ワークショップを開催した。ヒップホップ、バレエ、ジャズ、コンテンポラリー、舞踏と幅広いジャンルのダンスを初心者や子どもでも気軽に体験できる内容でお楽しみいただいた。



期 日：①令和6年7月22日（月）開始18：00

ヒップホップ

②23日（火）開始18：00 バレエ

③23日（火）開始19：30 ジャズ

④28日（日）開始13：00 コンテンポラリー

⑤28日（日）開始15：00 舞踏

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人

日本芸術文化振興会

講 師：①西野留以 ②郷翠 ③坪田みなみ

④鈴木明倫 ⑤髪立ツカサ

対 象：年齢制限なし、ダンス経験不問

参加料：500円

参加者数：①11人 ②22人 ③15人 ④21人 ⑤13人

<配信事業>【有料アーカイブ配信】

「Creative Art Mix Vol.2~Classical Jewels~」

配信日時：令和6年4月5日（金）～5月26日（日）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

映像制作：門間友佑

視聴料金：1,000円

視聴数：55回

市民交流プラザ事業部

主催事業

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能をいかし、国内外トップクラスのバレエ、舞踏など本格的舞台芸術による鑑賞の場を多彩な内容で広く市民に提供した。

①新国立劇場バレエ団「アラジン」 **新規**

2008年にビントレー元新国立劇場舞踊芸術監督が振り付けた全幕バレエ「アラジン」を札幌文化芸術劇場 hitaru で上演した。

エンターテインメント性と芸術性が見事に調和した内容により、バレエを初めて観る方など、大人から子どもまで幅広い世代の方々にお楽しみいただいた。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和6年7月6日（土）、7日（日）

各日開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：富田実里（指揮）

奥村康祐／速水渉悟（アラジン）

米沢唯／柴山紗帆（プリンセス）

中田実里／益田裕子（アラジンの母）

中島駿野／小柴富久修（サルタン「プリンセスの父」）

井澤駿／木下嘉人（ランプの精ジーン）

中家正博／中島駿野（魔術師マグリブ人）

札幌交響楽団（管弦楽）

※7月6日（土）プリンセス役 米沢唯の体調不良に伴い、第3幕は以下の通り出演者が交代した。

アラジン：奥村康祐 ⇒福田圭吾

プリンセス：米沢唯 ⇒池田理沙子

入場料：全席指定 SS席 15,000円、S席 13,000円、A席 10,000円、B席 8,000円、C席 6,000円、D席 5,000円、U25席 各席2,000円引き（SS席を除く）

入場者数：6日（土）1,955人、7日（日）1,924人

<関連事業>

新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベント「クラスレッスン見学会」 **新規**

新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベントとして、公演当日・本番直前の舞台上で行われる新国立劇場バレエ団によるクラスレッスン見学会を、札幌市民交流プラザメンバーズ限定で開催した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和6年7月6日（土）開始10:45

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

出 演：新国立劇場バレエ団

参加料：全席指定 500円

参加者数：195人

<関連事業>

新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベント
バックステージツアー **新規**

新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベントとして、劇場の裏側や「アラジン」公演の舞台セットなどを紹介するバックステージツアーを、札幌市民交流プラザメンバーズ限定で開催した。



期 日：令和6年7月6日（土）開始18:30
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
参加料：500円
参加者数：30人

②山海塾「降りくるもののなかでーとばり」

1975年 天児牛大（あまがつうしお）によって創設され、世界中の観客を魅了してきた舞踏カンパニー山海塾の1994年以来約30年ぶりの札幌公演を開催した。2008年にパリ市立劇場で初演されて以来、世界14ヶ国37都市で上演を重ねてきた「降りくるもののなかでーとばり」を上演した。



撮影：yixtape

期 日：令和7年3月23日（日）開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人

札幌国際プラザ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

演出・振付・デザイン：天児牛大

出 演：山海塾

入場料：全席指定 一般 4,500円、U25 3,000円

入場者数：874人

<関連事業>

舞踏手によるワークショップ

山海塾舞踏手を講師に迎え、身体と静かに向き合い、舞踏の身体表現の基礎を体験いただく舞踏ワークショップを開催した。



撮影：yixtape

期 日：令和7年3月22日（土）開始13:00
会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
講 師：蟬丸、岩本大紀、高瀬誠（山海塾舞踏手）、伊藤壮太郎（山海塾アンダースタディ）
対 象：年齢・経験不問
参加料：一般 3,000円、U25 1,000円
参加者数：36人

③hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、料金設定を低くおさえ、親しみやすい選曲により、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

市民交流プラザ事業部

主催事業

(1) 川井郁子 with 響Duo

新規

世界的活動を続けるヴァイオリニスト 川井郁子を迎え、ピアノ、和楽器とのコラボレーションコンサートを開催した。第1部ではピアノとのデュオでクラシックやジャズなど幅広いジャンルの曲を披露し、第2部では篠笛・能管、鼓との和洋アンサンブルをお届けした。

また、公演後には劇場ホワイエにて、物販購入者限定の川井郁子サイン会を実施した。



撮影：Ryoichi Kawajiri

期 日：令和6年7月13日（土）開演16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：株式会社ブルーノート・ジャパン

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、株式会社エフエム北海道、株式会社エフエム・ノースウェーブ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：川井郁子（ヴァイオリン）

フェビアン・レザ・パネ（ピアノ）

藤舎推峰（篠笛・能管）

住田福十郎（鼓）

曲 目：<第1部>

1. リベルタンゴ
2. エル・チョクロ
3. 愛の挨拶
4. 愛の讃歌
5. 群衆
6. エマニュエル
7. サマータイム
8. サマーストーム
9. チャルダッシュ
10. レッド・ヴァイオリン ～恋のアランフェス～

<第2部>

11. さくら
12. 夕顔 ～源氏物語より～
13. 荒城の月
14. 時の彼方に
15. 赤い月
16. ホワイトレジェンド ～白鳥の湖より～
17. ジュピター

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：1,133人

(2) BODY&SOUL Kids★Party（後掲）

(3) ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス

神秘的な歌声により世界中で人気を博すコーラスグループANÚNA（アヌーナ）による、北海道初となる公演を開催した。アイルランドの伝統的な音楽を現代に蘇らせる美しく幻想的なハーモニーを届けるとともに、周囲の豊かな自然や奥深い文化、日本との深いつながりを紹介する展示をアイルランド大使館の協力のもとホワイエにて併催し、充実のひとつときを提供した。



撮影：Momma Yusuke

期 日：令和6年11月26日（火）開演18:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
Culture Ireland

出 演：ANÚNA

曲 目：<第1部>

1. Media Vita 生の只中にありて
10世紀アイルランド聖歌より

2. Earendel エアレンデル
3. Geantrai 楽しい歌
4. Shadow of the Lowlands
シャドウ・オブ・ザ・ローランズ
5. The White Rose ホワイトローズ
6. Ríu Ríu リウリウ
7. Ever Come to an End
エヴァー・カム・トゥ・アン・エンド
8. Greensleeves/Scarborough Fair
9. Maalaulu (Earth Song) マアアラウル
(地球の歌)

<第2部>

10. Sanctus サンクトゥス
11. The Coventry Carol コヴェントリー・
キャロル
16世紀イギリスのクリスマス・キャロル
12. Illumination イルミネーション
アイルランド・セント・マルトス教会の
墓碑銘(16世紀)より
13. さくら さくら
14. Jerusalem エルサレム
15. Dulaman ドゥラマン
16. Pie Jesu 慈悲深きイエスよ
17. もののけ姫
18. Danny Boy ダニー・ボーイ
19. O Holly Night オー・ホーリー・ナイト

入場料：全席指定 一般 3,000円、U25 1,500円

入場者数：1,486人

<関連事業>

歌唱ワークショップ

ANÚNAの芸術監督兼作曲家であるマイケル・マクグリンを講師に迎え、ANÚNA特有の歌唱法を札幌文化芸術劇場 hitaruの舞台上で体験できるワークショップを開催した。



撮影：Momma Yusuke

期 日：令和6年11月25日(月) 開始19:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) 独立行政法人
日本芸術文化振興会

講 師：マイケル・マクグリン (ANÚNA)

参加料：500円

参加者数：60人

市民交流プラザ事業部

主催事業

④Daiwa House® PRESENTS

熊川哲也 K-BALLET TOKYO Autumn Tour 2024

『マーメイド』

数々のグランド・バレエを意欲的に世に送り出してきた熊川哲也による、アンデルセンの童話「人魚姫」が題材のオリジナルのグランド・バレエ『マーメイド』を上演した。



撮影：Yumiko Inoue

期 日：令和6年9月18日（水）

①開演14:00 ②開演18:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社、北海道文化放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

特別協賛：大和ハウス工業株式会社

協 賛：株式会社ヤマノホールディングス

オフィシャルエアライン：ANA

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

出 演：小林美奈／飯島望未（マーメイド）

堀内将平／山本雅也（プリンス）

成田紗弥／日高世菜（プリンセス）

石橋奨也（シャーク）

他 K-BALLET TOKYO

入場料：全席指定 Kプラチナシート 22,000円、
S席 18,000円、A席 15,000円、B席 11,000円、
C席 9,000円

入場者数：①1,759人 ②1,943人

⑤プラザフェスティバル2024

モーリス・ベジャール・バレエ団 2024年日本公演

「バレエ・フォー・ライフ」

プラザフェスティバル2024の劇場公演として、モーリス・ベジャール・バレエ団が、クイーンの名曲にのせて贈るバレエ作品「バレエ・フォー・ライフ」を上演した。



期 日：令和6年10月6日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

振 付：モーリス・ベジャール

出 演：モーリス・ベジャール・バレエ団

音 楽：特別録音による音源を使用

入場料：全席指定 S席 17,600円、A席 16,500円、
B席 14,300円、C席 11,000円、D席 9,900円

入場者数：1,577人

⑥第9回北海道戯曲賞 大賞受賞作品
ニットキャップシアター 第45回公演
「チャーホフも鳥の名前」

かつてサハリン島のある街に暮らした、ロシア、朝鮮、日本、北方民族といった様々な人々の約100年のクロニクルが描かれる、第9回北海道戯曲賞 大賞受賞作「チャーホフも鳥の名前」を上演。8月24日の終演後には作・演出のごまのはえと松井周によるアフタートークを実施し、作品の魅力や制作秘話などを語った。



撮影：高橋克己

期 日：令和6年8月24日（土）、25日（日）
各日開演13:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道

作・演出：ごまのはえ

出 演：門脇俊輔、澤村喜一郎、仲谷萌、西村貴治、
山谷一也、石原奈々子、大路絢か、千田訓子、
山岡美穂

入場料：全席指定 一般 前売 3,500円、当日 4,000円
U25 前売 2,000円、当日 2,500円

高校生以下 前売 1,000円、当日 1,500円

入場者数：24日（土）151人、25日（日）132人

⑦第五回さっぽろ落語まつり（共催）

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第5回公演。東西の人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホールの2会場で3日間、計12公演開催。

期 日：令和6年5月24日（金）～26日（日）

5月24日（金）①開演13:00 ②開演17:30

25日（土）③開演11:00 ④開演15:30

26日（日）⑤開演11:00 ⑥開演15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：株式会社オフィスまめかな、吉本興業株式会社

入場料：全席指定 前売 4,600円、当日 5,000円

入場者数：①1,426人 ②1,216人 ③1,269人 ④1,919人

⑤467人 ⑥640人

⑧ミュージカル「この世界の片隅に」（共催）

新規

太平洋戦争下の広島県呉市に生きる人々の物語を丁寧な描き、2度の映画化や実写ドラマ化もされた漫画「この世界の片隅に」初のミュージカル上演。主人公・浦野すず役に昆夏美、大原櫻子（Wキャスト）を迎え、全4日間、計5公演上演した。

期 日：令和6年6月6日（木）～9日（日）

6月6日（木）①開演17:30

7日（金）②開演12:30

8日（土）③開演12:00 ④開演17:00

9日（日）⑤開演12:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定

S席 14,500円、A席 11,000円、B席 6,000円

入場者数：①630人 ②2,011人 ③778人 ④900人

⑤1,207人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑨舞台「千と千尋の神隠し」(共催)

宮崎駿のアニメーション映画が原作の舞台「千と千尋の神隠し」の再演。主人公・千尋役に川栄李奈、福地桃子(Wキャスト)を迎え、全6日間、計9公演上演した。

期 日：令和6年6月15日(土)～20日(木)

6月15日(土) ①開演17:00
16日(日) ②開演12:00 ③開演17:00
17日(月) ④開演18:00
18日(火) ⑤開演13:00 ⑥開演18:00
19日(水) ⑦開演13:00
20日(木) ⑧開演13:00 ⑨開演18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定

S席 15,500円、A席 12,000円、B席 7,000円

入場者数：①2,093人 ②2,108人 ③2,095人 ④2,078人
⑤2,006人 ⑥2,062人 ⑦2,082人 ⑧1,959人
⑨1,981人

⑩2024 HTB ジルベスターコンサート(共催)

1997年にスタートした歴史あるコンサートの第27回公演。ゲストにクラシックギタリストの村治佳織、ソプラノ歌手の倉岡陽都美、ジャズシンガーの玉川健一郎を迎え、札幌交響楽団の演奏で開催した。

期 日：令和6年12月31日(火) 開演17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

特別協力：札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人札幌交響楽団、株式会社エフエム北海道

特別協賛：株式会社アミノアップ

協 賛：北海道ポラコン株式会社、株式会社オカムラ、チュウケイ株式会社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 力：日本航空株式会社

入場料：全席指定 プラチナ席 10,000円、SS席 7,000円、S席 6,000円、A席 5,000円、B席 4,000円、中学生以下(A席、B席) 500円

入場者数：1,607人

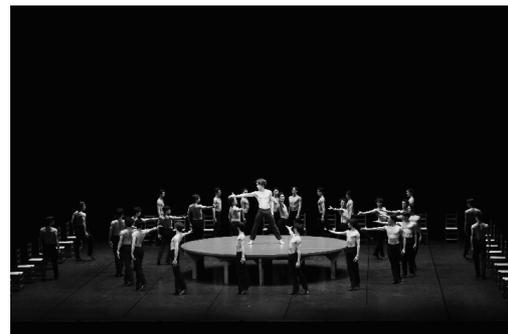
3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

①青少年向けバレエ鑑賞事業

舞台芸術を通して豊かな心を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学2年生を対象に青少年向けバレエ鑑賞事業を開催した。

国内のみならず、世界の名だたる舞台でも賞賛を浴びてきた東京バレエ団による、クラシックバレエの名作「ドン・キホーテ」、現代バレエの傑作「ボレロ」の2作品を上演した。冒頭では作品紹介映像をはじめ、出演ダンサーによる「ドン・キホーテ」のキャラクター紹介も実施した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和6年9月6日(金) 開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

特別協賛：株式会社ニトリ

出 演：東京バレエ団

プログラム：「ドン・キホーテ」より抜粋

「ボレロ」(モーリス・ベジャール振付)

入場料：無料

入場者数：1,969人(札幌市内中学校20校)

②<配信事業>

青少年向けバレエ鑑賞事業

札幌市内の中学校2年生を対象に、国内外で高い評価を受ける東京バレエ団による「白鳥の湖」(プロローグ付き第2幕)、「ボレロ」の2作品と解説を加えた映像作品のオンライン配信を実施した。また、今年度は映像に字幕をつけ、映像の内容がより分かりやすくなるよう工夫した。

配信日時：令和6年11月1日(金)～30日(土)

会場：各中学校

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

出演：東京バレエ団

プログラム：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」(モーリス・ベジャール振付)

対象：札幌市内の中学2年生

参加料：無料

視聴人数：340人(札幌市内中学校8校)

③hitaruのひととき

BODY&SOUL Kids★Party 新規

子どもと親が一緒になってパフォーマンスアーツの魅力を活かせるイベントとして、地元のダンサー、DJ、オペラ歌手を出演者に迎え、音楽に合わせて体を動かす楽しさを体験するワークショップと、ディスコ形式のイベントを2本立てにて開催した。



期 日：令和6年11月16日(土)、17日(日)

16日(土) おそわるワークショップ DAY

①未就学児コース 開始14:00

②低学年コース 開始16:00

17日(日) BODY&SOUL Kids★Party

開始16:00

会場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：たま先生 (DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST)
あっきい (ダンス 鈴木明倫)
ひとちゃん (シンガー 倉岡陽都美)
おねえさんズ (ダンスアシスタント)

参加料：17日(日) 単独チケット
一般 1,500円、U25 (小学生以上) 500円、
未就学児 (0歳以上) 300円
16日(土)・17日(日) 2日通しチケット
一般 2,000円、U25 (小学生以上) 1,000円、
未就学児 (0歳以上) 500円

参加者数：16日(土) ①65人 ②30人、17日(日) 135人

④hitaru オペラプロジェクト モーツァルト
オペラ「ドン・ジョヴァンニ」関連事業
「ドン・ジョヴァンニ」への誘い
～ハイライト・コンサート(再掲)

⑤山海塾「降りくるもののなかでーとばり」
関連事業
舞踏手によるワークショップ(再掲)

⑥Creative Art Mix Vol.3
Classical Jewels DX～New World～関連事業
Creative Art Mix Dance Workshop 2024
(再掲)

⑦hitaru バレエプロジェクト×札幌芸術の森
バレエセミナー 公開講座
パリ・オペラ座バレエ団
ジル・イゾアールを迎えて 新規

「hitaru バレエプロジェクト」と「札幌芸術の森バレエセミナー」がパリ・オペラ座バレエ団より教師のジル・イゾアールを迎えて、初の公開講座を開催した。

第1部では模範生徒として山本小春が出演し、イゾアールによるバレエレッスンの公開指導を実施した。第2部は趣きを変え、ダンサーや指導者としてのイゾアール自身の経験や解剖学など、盛りだくさんな内容を講演した。

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和6年8月9日（金）
第1部：公開レッスン 開始14:00
第2部：トーク 開始15:10
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌芸術の森
（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音
楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会
講 師：ジル・イゾアール（パリ・オペラ座バレエ団
教師・パリ国立高等コンセルヴァトワール教
授・札幌芸術の森バレエセミナー主任講師）
模範生徒：山本小春（パリ・オペラ座バレエ団）
ピアノ伴奏：圓井晶子
通 訳：四方泉（日仏舞踊協会／タンリエ）
司 会：古屋瞳
受講料：全席自由 1,000円
参加者数：91人

⑧ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス 歌唱ワークショップ（再掲）

⑨青年団 子ども参加型演劇

サンタクロース会議

新規

4歳から入場いただける子ども向け参加型演劇とし
て、舞台上のさまざまな登場人物と客席の子どもたち
が「サンタクロースにどうしたら会えるのか」などの
サンタクロースに関する議論に参加することで物語が
進行していく、平田オリザが作・演出を担う「サンタ
クロース会議」を上演した。

期 日：令和6年12月7日（土）開演15:00
8日（日）開演11:00

会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音
楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会
作・演出：平田オリザ
出 演：天明留理子、川隅奈保子、木崎友紀子、島田
曜蔵、福田倫子、井上三奈子、村井まどか、
立蔵葉子、山本裕子、岩井由紀子、中藤奨、
稲川悟史、山田遥野
入場料：全席自由 親子セット券（子ども席＋大人席）
3,500円、子ども席（中学生以下）1,000円、
大人席（高校生以上）3,000円
入場者数：7日（土）111人、8日（日）105人

⑩青年団 子ども参加型演劇 サンタクロース会議 関連事業

平田オリザ講演会

「わかりあえないことから in Sapporo」 **新規**

青年団 子ども参加型演劇「サンタクロース会議」

作・演出の平田オリザによる講演会を開催。「現代演
劇を通して考えるコミュニケーション」をテーマに、
講師がこれまで教育の現場などで実践してきた、演劇
を活用したコミュニケーションについて語った。また、
会場ロビーでは講師関連書籍の販売と、終演後に購入
者限定サイン会を開催した。

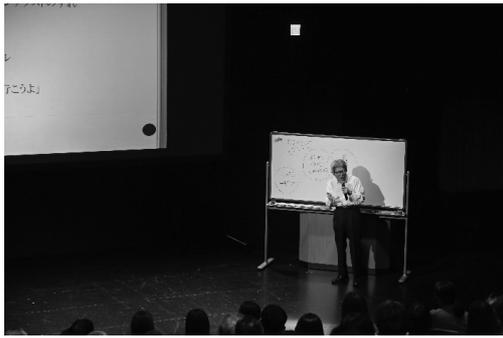
期 日：令和6年11月2日（土）開始18:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

講 師：平田オリザ



入場料：全席自由 一般 1,000円、U25 500円、高校生以下 無料

入場者数：124人

⑪ 青年団 子ども参加型演劇 サンタクロース会議
関連事業

中高生向け演劇ワークショップ
「わかりあえないことから」を体験しよう

新規

青年団 子ども参加型演劇「サンタクロース会議」作・演出の平田オリザによる、演劇の手法を活用した中高生向け演劇ワークショップを開催した。

コミュニケーションゲームや演劇の創作を通して、演じるとは何か、コミュニケーションとは何かを考えるワークショップとなった。



期 日：令和6年11月3日（日・祝）開始13:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会

講 師：平田オリザ

対 象：参加 中学生、高校生 ※演劇経験不問
見学 中学・高校演劇部の先生等

受講料：無料

入場者数：参加者33人、見学者10人

⑫ <連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru
連携事業 アートプログラム2024

「ドン・ジョヴァンニ」見どころ・聴きどころ

札幌大谷大学と札幌文化芸術劇場 hitaruが連携し、音楽や舞台芸術の魅力をお届けする事業「アートプログラム」を開催した。今回は hitaru オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」の関連事業として、作品の見どころ・聴きどころを札幌大谷大学の千葉潤学長が解説したほか、同公演に出演する針生美智子とピアノ演奏として鎌倉亮太が作品解説に沿った曲目の演奏を披露した。



撮影：渡辺可緒理

期 日：令和6年12月13日（金）開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：千葉潤（札幌大谷大学学長）

出 演：針生美智子（ソプラノ）、鎌倉亮太（ピアノ）

入場料：全席自由 1,000円

入場者数：124人

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑬クリエイティブスタジオ シネマシリーズ8 映画へと導く映画

話題の映画監督が影響を受けた2作品の上映と、特別公演をお送りする「シネマシリーズ」の8回目を開催。今回は横浜聡子監督をお迎えし、『ドイツ零年』、『彼女と彼』の2作品を上映した。

上映後に行われた特別講演では、上映した2作品について実際に作品を見返しながら解説し、講演会後半には質疑応答を実施した。また、特別講演終了後は監督によるサイン会を行った。



期 日：令和7年1月25日（土）

①上映1 『ドイツ零年』 開始13:00

②上映2 『彼女と彼』 開始14:50

③横浜監督による特別講演 開始17:25

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

特別講演：横浜聡子

入場料：全席指定 2,500円

入場者数：149人

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、様々なジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性をいかし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出に繋がる事業を実施した。

①プラザフェスティバル2024

モーリス・ベジャール・バレエ団 2024年日本公演
「バレエ・フォー・ライフ」（再掲）

⑤ 舞台技術向上への取組

舞台技術者の技術の向上や知識・経験の共有を図るため、舞台技術者を対象としたセミナーを開催した。

また、他の劇場や芸術団体と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

さらに、将来の舞台技術者の育成を図る取組として、専門学校生・大学生向けの hitaru 施設見学会を開催した。

① 第5回 hitaru 舞台技術セミナー

「舞台における器具の安全性～知っていますか？
適正な荷重やトルク～」

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上と技術・経験の共有を目的に、道内公共ホールや舞台技術業者、舞台系専門学校等に広く参加を呼びかけ、「第5回 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。



期 日：令和7年1月21日（火）、22日（水）

1月21日（火）

①ゼミ1「スリング、シャックルについて」

13:30～14:45

②ゼミ2「実際の使用について」

15:00～16:15

③ゼミ3「ロープについて」16:30～17:45

1月22日（水）

④ゼミ4「クランプについて」10:00～11:00

⑤ゼミ5「物理的な見地から」11:15～12:15

⑥劇場見学（自由参加）13:30～15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：佐々木崇（株式会社大阪シミズ）

菅原辰也（株式会社北海道シミズ）

中川陽介（株式会社日建設計）

宮城正弘（株式会社日建設計）

齋藤玲（札幌文化芸術劇場舞台技術担当課長）

野村吏（札幌文化芸術劇場舞台セクションチーフ）

伊藤久幸（札幌文化芸術劇場舞台技術アドバイザー）

参加料：無料

参加者：66人（21日62人、22日59人）

② 技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

（1）第1585回札幌市民劇場 札幌洋舞連盟 ダンスパフォーマンス2024

期 日：令和6年6月27日（木）、28日（金）

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌洋舞連盟

（2）Gris Ballet スクールパフォーマンス2024

期 日：令和6年8月2日（金）、3日（土）

会 場：ちえりあホール

主 催：Gris Ballet

（3）DANCE HOUSE 15周年記念発表会 「ドン・キホーテ」全幕

期 日：令和6年8月11日（日・祝）

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：DANCE HOUSE

（4）Maki Little Ballet Class バレエコンサート

期 日：令和6年8月14日（水）、15日（木）

会 場：札幌市民ホール

主 催：Maki Little Ballet Class

（5）FAREWELL2024 くるみ割り人形全幕

期 日：令和6年12月3日（火）～5日（木）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：We Love Ballet 実行委員会

市民交流プラザ事業部

主催事業

(6) より子・バレエ・スタジオ40周年記念公演

期 日：令和6年12月13日（金）、14日（土）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：より子・バレエ・スタジオ

(7) 第65回記念公演 子ども舞踊祭

期 日：令和7年3月26日（水）～28日（金）

会 場：札幌市教育文化会館

主 催：札幌洋舞連盟

③学生向け hitaru 施設見学会

将来の舞台技術者の育成をはかる取組として、市内専門学校・大学の学生を対象に、劇場及びクリエイティブスタジオの施設見学会を開催した。

期 日：令和6年4月23日（火）13:00～16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru（劇場、クリエイティブスタジオ）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者：93人（専門学校生91人、大学生2人）

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会の創出を通して、都心部ににぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、地域の魅力づくりに寄与するとともに、SCARTSの認知度向上に繋がった。

【SCARTS メディアアーツシリーズ】

市内の専門機関と連携し、メディアアーツ都市札幌の取組の充実に資する事業を展開する。今年度は、北海道大学 CoSTEP をはじめ、道内の機関とも連携するなど若い世代に向けた事業を実施した。

①SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト

札幌文化芸術交流センター SCARTSと北海道大学 CoSTEP が共同し、若い世代のアートとサイエンスに対する探究心や感性を養うことを目的としたプロジェクト。アートの創造性と科学的な探究との相互交流により、世界をひろげる学びの場をつくることを目指している。

社会的に関心の高い科学的トピックからテーマを設定し、アーティストが自身の関心領域に引き付け、リサーチを行い、表現に結びつける。その新たな視点や価値を見出す過程を体験するトークイベント、ワークショップや成果発表会を実施している。

(1)「時間展望—もっと先の自分へ」

過去・現在・未来といった時間軸を見通す行動「時間的展望」という思考方法から、「プレコンセプションケア」（＝男女問わず、妊娠・出産を考慮に入れ、現在の健康状態を確認したり、生活習慣の見直しを行ったりすること）について考えるオープンミーティングを開催した。

期 日：令和6年8月1日（木）14:00～17:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌市、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

札幌文化芸術交流センターに関する事業 1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業



撮影：門間友佑

登壇者：荒木悠（アーティスト・映画監督）、市原佐都子（劇作家・演出家・小説家・城崎国際アートセンター芸術監督）、佐野友宇子（北海道石狩振興局保健環境部保健行政室〔北海道江別保健所〕主任技師）、前田恵理（北海道大学 大学院医学研究院 准教授）

モデレーター：朴炫貞（北海道大学 CoSTEP 特任講師）

参加料：無料

参加者数：31人

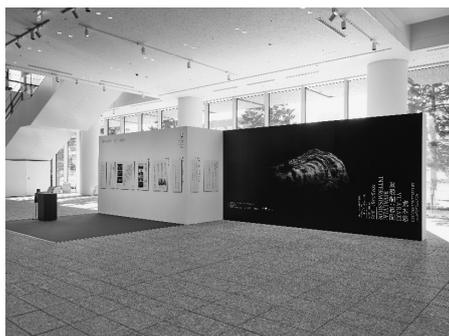
（2）「荒木悠 双殻綱：幕間 BIVALVIA:INTERMISSION」

テーマ「プレコンセプションケア」をアーティスト・映画監督の荒木悠が自身のライフワークと位置づけている「牡蠣」をモチーフにした《双殻綱プロジェクト》と接続し、過去作から本プロジェクトの成果として制作した新作映像までを発表した。

各会場に＜前説・奈落・楽屋・劇場・呼吸の間＞といった呼び名を設定し、会場と作品のコンセプトを紐づけるとともに、事業説明・アーティストの制作過程の紹介・作品鑑賞の場と役割を整理し、来場者の回遊を試みた。

期 日：令和7年2月15日（土）～3月2日（日）
10:00～18:00 ※15日のみ14:00オープン

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、



撮影：岡田昌紘

SCARTS モール A・B・C

主 催：北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌市、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市教育委員会

協 力：無人島プロダクション

助 成：令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
広報協力：札幌国際芸術祭（SIAF）

アーティスト：荒木悠（アーティスト・映画監督）

参加料：無料

参加者数：5,513人

＜関連プログラム＞

1. ギャラリーツアー&ワークショップ

期 日：令和7年2月16日（日）13:00～16:30

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール A・B・C

講 師：荒木悠、奥本素子、朴炫貞（CoSTEP）

参加者数：48人

2. 札幌アートコミュニケーターズプレゼンツ おしゃべりアート

期 日：令和7年2月24日（月・休）10:00～18:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ

企画協力：札幌アートコミュニケーターズ

参加者数：80人

②連携（共催・協力）事業

（1）Next Young Artist Award×SCARTS 連携トーク

「クリエイターが紡ぎ出す場所」

「学生CGコンテスト」が「Next Young Artist Award（NYAA）」として生まれ変わり、30周年企画として連携トークイベントを開催。札幌を拠点とする過去の受賞者等を迎え、「場所」を切り口にアーティストの創造性に迫った。

期 日：令和6年11月3日（日・祝）15:00～16:30

会 場：札幌市図書・情報館1階サロン

主 催：公益財団法人 画像情報教育振興協会（CG-ARTS）

市民交流プラザ事業部

主催事業



撮影：岡田昌紘

共 催：札幌市、札幌文化芸術交流センター SCARTS
(札幌市芸術文化財団)

助 成：令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

モデレーター：荻貴彦 (CG-ARTS文化事業部担当部長)

登壇者：菅野歩美 (アーティスト)、佐藤壮馬 (美術家)、平川紀道 (アーティスト)

参加料：無料

参加者数：40人

(2) 北海道大学 CoSTEP

「IMAGINE HOME, SWEET HOME」

北海道大学 CoSTEP が招へいた、ソウルを拠点に活動するアーティスト、バン・ジェハの公演を開催した。本作品は、前半に観客参加型の公演、後半にワークショップで構成され、公演では、国境を超えた人々の家や居場所についての物語とともに、AIやデータといったテクノロジーの社会状況への介入や情報が人に与える影響を観客が参加することで浮き上がらせた。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和6年11月6日 (水) 19:00~21:00、
7日 (木) 11:00~13:00、16:00~18:00

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC
(11月6日 (水) ~10日 (日) 関連展示)

主 催：北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエ
デュケーションセンター 科学技術コミュニケー
ション教育研究部門 (CoSTEP)、バン・ジェ

ハ (作家)

協 力：天神山アートスタジオ、札幌文化芸術交流セ
ンター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

助 成：韓国文化芸術委員会、ポストヒューマン社会
のための想像学

参加料：無料

参加者数：70人

(3) 「市立高校プレゼンテーション大会2024」

札幌市教育委員会と連携し、市立高校・特別支援学
校における教育や各種取組について理解を深める機会
として在校生による探究学習のステージ発表や学校紹
介のポスターセッションを開催した。

また、イベント実施に向け、市立札幌平岸高等学
校デザインアートコースの有志生徒4名が広報物や会場
サインの制作を行った。「デザイン実践」として、デ
ザイナーの川尻竜一を講師に迎え講義を行い、あわせ
てSCARTS スタッフも併走し取り組んだ。



札幌平岸高等学校の生徒による広報デザイン

期 日：令和7年3月9日 (日) 13:00~17:00

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

主 催：札幌市教育委員会 市立高等学校・特別支援
学校長会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌
市芸術文化財団)

参加料：無料

参加者数：405人

札幌文化芸術交流センターに関する事業 1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

【SCARTS連携事業】

これまで市内各所で行われてきた、他分野（経済産業・福祉・教育など）における様々な取組や、連携協定締結先、財団内他事業部、市民交流プラザ内の他課などと連携し、より効果的な市民への普及を図ることを目的とした事業を実施した。

①大学連携コンサート

札幌市芸術文化財団が連携協定を結ぶ北海道教育大学、札幌大谷大学と協力し、次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供するとともに、市民が気軽に文化芸術に触れる場を創出することを目的として、コンサートを実施した。また、アーカイブ映像を無料配信した。

(1) 北海道教育大学岩見沢校 「新大陸とクラシック音楽」



撮影：原田直樹

期 日：令和6年9月18日（水）①開演19:00
19日（木）②開演14:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出演者：橋本芽育（サクソフォン）、宮崎夏帆（ピアノ）、山口琴香（ピアノ）

ナビゲーター：森唯菜／段木涼太（HTB北海道テレビ放送アナウンサー）

曲 目：プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ 第2番
ニ短調 Op.14

ケージ：4分33秒

ヴィラ=ロボス：ソプラノサクソのための
ファンタジア

参加料：全席自由 無料

参加者数：①70人 ②70人

(2) 札幌大谷大学「色づく旋律」



撮影：武田博治

期 日：令和6年10月30日（水）開演19:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出演者：芦野結菜（声楽）、佐藤由渚（フルート）、
中村結（ピアノ）、三上慎太郎（ピアノ）、
村松萌乃（ピアノ）

ナビゲーター：段木涼太（HTB北海道テレビ放送アナウンサー）

曲 目：トレッリ：あなたは知っている
ロッシェニ：フィレンツェの花売り娘
ブッチェニ：歌劇『ラ・ボエーム』より
私が街を歩けば（ムゼッタのワルツ）

マイヤー=オルバースレーベン：
ファンタジー・ソナタ Op.17 第一、第三楽章
バルトーク：舞踊組曲 BB 86b Sz 77

参加料：全席自由 無料

参加者数：87人

(3) 無料アーカイブ配信



期 日：令和6年12月1日（日）～31日（火）
 主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
 後 援：札幌市、札幌市教育委員会
 協 力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻、札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科
 視聴料金：無料
 再生回数：北海道教育大学岩見沢校公演 394回、札幌大谷大学公演 382回

②柴田あゆみ かみがみの森

切りだす光に包まれる 切り絵の展覧会 **新規**

鑑賞者が包み込まれるような超大型作品から、小瓶に切り絵を収めた細密な作品まで、切り絵アーティスト・柴田あゆみの初期から近作まで約60点を展示した。命の営みや森羅万象を主題として、7章のストーリー仕立てとした本展では、音や照明の演出を加えることで、物語の中に引き込まれるような感覚体験を提供した。



期 日：令和6年4月27日（土）～5月26日（日）
 10:00～18:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モール A・B
 主 催：北海道テレビ放送株式会社、株式会社 HTB プロモーション、道新文化事業社、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
 参加料：一般1,200円、高校・大学生1,000円、中学生以下無料
 参加者数：17,152人

<関連プログラム>

1. 柴田あゆみ スペシャルトークショー

期 日：令和6年4月28日（日）11:00～11:50
 会 場：クリエイティブスタジオ
 出 演：大野恵（HTB北海道テレビアナウンサー）、柴田あゆみ（出品作家）
 参加者数：122人

③NoMaps2024

北海道を舞台に、カンファレンスや展示、実証実験などクリエイティブな発想や技術により次の社会・未来を創る人たちのための交流の場（コンベンション）を提供。オンラインを軸に、新しい技術やアイデアで社会のアップデートに取り組むプレイヤーたちのセッションや展示などを展開した。



期 日：令和6年9月11日（水）～15日（日）
 会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モール A・B・C
 主 催：NoMaps 実行委員会
 入場料：イベントによる
 参加者数：2,735人

札幌文化芸術交流センターに関する事業 1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

④第53回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル ー展示・いけ花・お茶席部門ー

札幌文化団体協議会に加盟する会員（団体・個人）が、日頃の研鑽の成果を発表する年に一度の機会。絵画・造形美術・書・陶芸・工芸・川柳・俳句・いけ花・茶道など、札幌を代表する芸術家が一堂に会し、多様な展示を実施した。



画像提供：札幌文化団体協議会

期 日：令和6年10月25日（金）～27日（日）
10:00～18:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール A・B・C

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：株式会社北海道新聞社、札幌文化芸術交流センター SCARTS/札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

入場料：無料

入場者数：2,853人

⑤さっぽろアートステージ2024

美術、音楽、演劇といった多彩な芸術分野に多くの市民が参加できる場を提供してきた「さっぽろアートステージ」。SCARTS会場では、子どもたちの創造性を育むワークショップと作品展示「キッズアートフェス」や、さっぽろアートステージが今年20周年となる



ことを記念した「20周年特別企画 メモリアルワークショップ&展示」などを開催した。

期 日：令和6年11月9日（土）～24日（日）

会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会、札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会、北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部、株式会社エフエム北海道、CAI 現代芸術研究所、札幌駅前通まちづくり株式会社、札幌市民交流プラザ（公益財団法人札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

入場者数：4,536人

<関連プログラム>

1. 20周年特別企画

メモリアルワークショップ&展示

期 日：[ワークショップ]

令和6年11月9日（土）、10日（日）、

16日（土）、17日（日）

[メモリアルパネル展示]

11月9日（土）～24日（日）

会 場：SCARTS モール B

7-アーティスト：風間天心、黒田晃弘、佐藤隆之、山田啓貴

参加者数：402人

2. University Student ART Competition

期 日：令和6年11月9日（土）～24日（日）

会 場：SCARTS モール A

参加校：札幌大谷大学、札幌市立大学、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学

審査員：浅沼敬子（北海道大学大学院・文学研究院准教授（芸術学））、端聡（美術家/さっぽろアートステージ美術部門総合プロデューサー）、山本謙一（NPO 法人 S-AIR 代表）、吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）

参加者数：3,060人

市民交流プラザ事業部

主催事業

3. キッズアートフェス

期 日：[展示]

令和6年11月9日(土)～24日(日)

10:00～19:00 ※24日のみ17:00クローズ

参加者数：1,476人

〈SCARTS コート会場〉

1. 自然に風景が生まれる

期 日：令和6年11月9日(土) 10:00～11:30、

10日(日) 14:00～15:30、

16日(土) 10:00～11:30、

17日(日) 14:00～15:30、

23日(土・祝) 10:00～11:30

記録者：進藤冬華

2. 1枚の紙から世界に1冊だけの本を作ろう！

期 日：令和6年11月9日(土) 13:00～14:30、

10日(日) 13:00～14:30

講 師：菊地和広

3. お気に入りのものをペーパークラフトにしよう！

マイ・ペーパークラフト2日連続ワークショップ

期 日：令和6年11月9日(土) 10:00～11:00、

11:30～12:30、13:30～14:30、15:00～16:00

10日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00

講 師：大橋鉄郎

〈SCARTS モールB会場〉

1. 本物そっくりな立体昆虫を作ろう！

期 日：令和6年11月10日(日) 10:30～11:15、

16日(土) 13:00～13:45

講 師：佐藤隆之

2. 家族や友達の似顔絵を木炭で描いてみよう！

期 日：令和6年11月16日(土) 10:30～12:00、

17日(日) 13:00～14:30

講 師：黒田晃弘

3. 日本伝統の水引を使って贈り物を作ろう！

期 日：令和6年11月9日(土) 13:00～14:00、

17日(日) 10:30～11:30

講 師：風間天心

4. 本物そっくりなサンマのオブジェを作ろう！

期 日：令和6年11月9日(土) 10:30～11:15、

10日(日) 13:00～13:45

講 師：山田啓貴

⑥SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ 「天神山、また、まちにいく。」

“海外で活動した札幌のアーティスト”と、“札幌で活動する市外及び海外のアーティスト”たち、それぞれのアーティストが創作活動について話をした。普段なかなか接する機会のないアーティストたちを身近に感じる機会を参加者に提供し、お茶を飲みながらゆっくりと「天神山アートスタジオ」の日常をSCARTSで体験できる機会とした。



期 日：令和7年2月8日(土) 13:00～17:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人AISプランニング、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

アーティスト：ギャノン・マーフィー、クスマエリカ、小林大賀、千葉麻十佳、冬木遼太郎

入場料：無料

入場者数：38人

⑦札幌市立大学デザイン学部公開講座 「アートにであう」

札幌市立大学の学生が、札幌市民交流プラザにある《凹みスタディ-札幌のかたちを巡る2018》を題材として、様々なワークショップを企画。8チームに分かれ、8つのワークショップを行った。

また、同作品を手がけたアーティスト・谷口顕一郎を迎え、代表的な作品群である《凹みスタディ》でのミクロな視点、《シティスタディ》でのマクロな視点、さらに近年のフィールドワークから生み出されている大地の起伏をも凹みの画材と捉えるようなダイナミックな視点の移り変わりについてトークを行った。

期 日：令和6年7月6日(土) 12:00～15:00

会 場：SCARTS モールC、札幌市図書・情報館1階サロン

主 催：札幌市立大学デザイン学部

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌)

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

市芸術文化財団)

協 力：札幌市図書・情報館

講 師：[トーク] 谷口顕一郎、樋泉綾子（札幌芸術の森美術館学芸員）、藤沢礼央（札幌市立大学デザイン学部講師）、細谷多聞（札幌市立大学デザイン学部教授）

参加料：無料

入場者数：ワークショップ35人、トーク56人

⑧札幌市図書・情報館セミナー

隣接する札幌市図書・情報館の企画により、インターネットの中にもない最新の情報を提供することをコンセプトに「WORK」、「LIFE」、「ART」、「札幌の魅力」をテーマとしたオリジナルのセミナーを月2回程度開催した。

（1）女性のための起業のヒント

期 日：令和6年5月30日（木）18:30～20:40

会 場：SCARTS コート

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：札幌市男女共同参画センター

講 師：阿部更（札幌市男女共同参画センター）、小西麻衣（合同会社 my 企画 [Local Business Lab] 中小企業診断士）、前塚愛子（株式会社 Agararu 代表取締役社長）

入場料：無料

入場者数：40人（オンライン19人）

（2）そろそろ気になる親のこと

～家族のために知っておきたい介護のはなし～

期 日：令和6年6月20日（木）18:30～20:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：沼澤玄太（札幌市中央区第1地域包括支援センター センター長）

入場料：無料

入場者数：37人

（3）クルマで届ける本との出会い

～自然体で進める起業～

期 日：令和6年6月29日（土）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：平塚真実（いどうほんや KOKO 店主）

入場料：無料

入場者数：60人

（4）札幌市立大学デザイン学部 公開講座『札幌の凹みスタディ 谷口顕一郎氏アーティストトーク』（再掲）

（5）今日よりもっといい明日へ！

～自分をケアする簡単オフィスヨガ～

期 日：令和6年7月18日（木）18:30～20:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市（ウェルネス推進部）、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：木下友紀（YUKIYOGASTUDIO 代表）

入場料：無料

入場者数：61人

（6）捨てられるものをタカラモノに

期 日：令和6年7月28日（日）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：吉田友花（株式会社アップサイクルホッカイドウ代表）

入場料：無料

入場者数：42人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(7) 魚がいる未来を、選べ。

期 日：令和6年8月17日（土）13:30～15:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：大坪友樹（LAUGH GROUP 代表取締役）、小西一人（マルショウ小西鮮魚店 代表取締役）、本間雅広（一般社団法人 DO FOR FISH 代表理事、一鱗共同水産株式会社 常務取締役）
入場料：無料
入場者数：32人

(8) 知るぼると塾

「インフレ時代のマネーセミナー」

期 日：令和6年9月5日（木）18:30～20:15
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館、北海道金融広報委員会、金融経済教育推進機構、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：加藤桂子（北海道金融広報アドバイザー）
入場料：無料
入場者数：24人

(9) 法テラス劇場

「つける前に考える成年後見」

期 日：令和6年9月7日（土）14:00～15:00
会 場：SCARTS コート
主 催：日本司法支援センター札幌地方事務所（法テラス札幌）、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
解 説：伊藤考一（弁護士）
出演役者：山村素絵、吉田諒希、須本早貴
入場料：無料
入場者数：132人

(10) 感情と手をつなぐ

～働く私が輝くための第一歩～

期 日：令和6年10月31日（木）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市（ウェルネス推進部）、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：向裕加（カウンセリングオフィス プロGRESS）

入場料：無料

入場者数：55人

(11) クリエイターが紡ぎ出す場所（再掲）

(12) はじめての創業セミナー

期 日：令和6年12月3日（火）18:30～20:00
会 場：SCARTS コート
主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：高松沙和（株式会社和學館 代表取締役）、南宗成（株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業本部 北海道創業支援センター 所長）

入場料：無料

入場者数：25人（オンライン35人）

(13) “好き”を極めれば、毎日はずっと面白い！ ウェルビーイングな働き方とキャンプの魅力

期 日：令和7年3月8日（土）13:30～15:00
会 場：SCARTS コート
主 催：札幌市図書・情報館
協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：川手有沙（Possibility.Labo 代表）

入場料：無料

入場者数：44人

(14) 起業実現にむけた上手な相談のしかた

期 日：令和7年3月13日（木）18:30～20:00
会 場：札幌市図書・情報館1階サロン
主 催：札幌市、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：越山真也子（訪問フットケアステーション Fresh Foot 代表）、齊藤永（北海道よろず支援拠点）

入場料：無料

入場者数：32人（オンライン 20人）

⑨彫美連続講座2024（再掲）

【SCARTSパブリックリレーションズ】

SCARTSを身近な存在として認知してもらうことを目指し、ウェブやSNS、SCARTSレポートなどの様々な媒体を活用して情報発信を行った。また、西2丁目地下歩道での映像上映やプラザフェスティバルにおけるにぎわい創出やアートセンターに対する理解促進のための事業を実施した。

①西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

(1)西2丁目地下歩道映像上映

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ「西2丁目地下歩道」を舞台にした映像制作プロジェクト。4面プロジェクションで構成された横長のスクリーンと、歩行空間という特徴を生かしながら、多様で実験的な映像表現を探究してきた。令和6年度も、引き続き6作品の上映を行った。



撮影：Kenzo Kosuge

期 日：令和6年4月1日（月）より通年

会 場：西2丁目地下歩道

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

上映作品：スタジオロッカ《UNDER UNIVERSE》(2019年)

大木裕之《トシ シ》(2020年)

野口里佳《虫・木の葉・鳥の声》(2020年)

アピチャップン・ウィーラセタクン《憧れの

地 (The Longing Field)》(2021年)

小田香《Underground》(2022年)

空族《ILHA FORMOSA》(2023年)

②プラザフェスティバル2024

(1)アートセンターミーティング

—地域の交流拠点を考える—

アートセンターの役割や可能性を多角的な視点で考察するため、有識者や他都市のアートセンター関係者と開催してきたオープンミーティング。今回は、市民交流プラザが札幌の多様な文化芸術活動の中心的な拠点となるために、隣接する図書・情報館と連携して、本を通して「地域の交流拠点としてのあり方」を探った。



撮影：Asako Yoshikawa

期 日：令和6年10月4日（金）18:30～20:30

会 場：札幌市図書・情報館1階サロン

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市図書・情報館

登壇者：太田博子（八戸ブックセンター 企画運営専門員）、岡本周（せんとびゅあ 学芸員）、小篠隆生（一般社団法人新渡戸遠友りビングラボ 理事長）、吉本光宏（合同会社文化 commons 研究所 代表）、渡辺由布子（札幌市図書・情報館 司書）、松本桜子（札幌文化芸術交流センター SCARTS 事業係長）

入場料：無料

参加者数：51人

(2)新千歳空港国際アニメーション映画祭 プレゼンツ「アニメーション・トラベラーズ」 上映会&ワークショップ

第1部の「ファミリープログラム上映会&ワークショップ」では、米ぬかを使用したクレヨン「キットパス」で作るARぬりえアニメーションワークショップと、子どもも大人も楽しめるアニメーション上映会を行った。

第2部では、新千歳空港国際アニメーション映画祭の歴代受賞作品を中心に、大人向けの短編アニメーションの傑作セレクション上映を、本祭のディレクター小

市民交流プラザ事業部

主催事業

野朋子と、同じく選考委員であり自身もアニメーション作家として活躍するニヘイサリナのトークをまじえながら行った。



撮影：Asako Yoshikawa

期 日：令和6年10月5日（土）13:00～18:00
会 場：SCARTS コート、札幌市図書・情報館1階サロン
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
企 画：新千歳空港国際アニメーション映画祭
登壇者：小野朋子（新千歳空港国際アニメーション映画祭 ディレクター）、ニヘイサリナ（新千歳空港国際アニメーション映画祭選考委員、アニメーション作家）
入場料：無料
参加者数：65人

（3）プラフェスヒロバ 新規

市民交流プラザ1階スペースがより開放的で市民の自由な交流の場となることを目指し、SCARTSと札幌市図書・情報館1階サロンを一体化する試みを行った。SCARTS コートを休憩スペースとして開放し、図書・情報館の家具や本棚を設置したほか、サロンでワークショップやトークイベントを実施するなど、施設の垣根を超えた新たな利用のかたちを提示した。

また、モールA・Bやスタジオにも図書・情報館の



撮影：Asako Yoshikawa

本棚を設置する「おでかけ本棚」や、札幌で活動する大学生がサロンで演奏を行う「ライブ・イン・ライブラリー」も実施。普段音を出さない環境での演奏という実験的な企画となったほか、音色に導かれ通りすがりの方や観光客が会場に足を運ぶなど、多くの方に演奏を楽しんでいただく機会となった。

期 日：令和6年10月4日（金）～10月6日（日）
10:00～18:00（4日のみ21:00クローズ）
会 場：SCARTS コート、札幌市図書・情報館1階サロン
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市図書・情報館
入場料：無料
参加者数：560人

<関連プログラム>

1. おでかけ本箱

期 日：令和6年10月4日（金）～10月6日（日）
会 場：SCARTS モールA・B、SCARTS スタジオ
企 画：札幌市図書・情報館

2. ライブ・イン・ライブラリー

期 日：令和6年10月6日（日）11:00～17:00
会 場：札幌市図書・情報館1階
出演者：北海道大学ジャズ研究会、北海道大学ピアノクラブ、北海学園大学ストリートピアノクラブ
参加者数：183人

（4）MORIHICO.

マルシェ・ドゥ・グルニエ×プラザマルシェ

SCARTS コートを飲食可能な休憩スペースとして開放し、SCARTS モールA・B等の各エリアに札幌市図書・情報館の本棚を設置することで、カフェ「MORIHICO. 芸術劇場」と図書・情報館、SCARTSの施設の垣根を超えた企画となった。

『森彦の冬支度』をテーマとした今回は、旬の果物や焼き菓子から、肌寒い季節にぴったりの洋服やアクセサリー、アンティーク雑貨まで、道内各地のアーティスト作品が勢ぞろいした。

期 日：令和6年10月4日（金）～10月6日（日）
11:00～18:00
※4日12:00オープン、6日17:00クローズ
会 場：SCARTS モールA・B
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業



撮影：MORIHICO.

プロデュース：MORIHICO.

入場料：無料

参加者数：750人

(5) 札幌芸術の森クラフトキャラバン
『秋のアトリエ』（再掲）

2 文化芸術活動支援事業・
文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップへの支援として、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する課題や悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座等も開催し、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境づくりにつなげた。

【SCARTS サポート事業】

インフォメーションカウンターや相談サービス、助成金の交付、オンラインでの情報発信、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業など、文化芸術活動を支える様々な事業を実施した。また、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

① SCARTS 相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスを行った。

利用件数：90件

② SCARTS ラーニングプログラム

公的支援を利用するために

一求められていることは何か、取り組みを見直してみる一

「公的資金を得るために具体的に求められている活動とは何か」をテーマに、助成制度そのものの考え方に対するレクチャーと、自らの活動を客観的に見直すグループワークを実施した。また、プログラムの最後には、事前予約制の個別相談会を行った。



市民交流プラザ事業部

主催事業

期 日：令和6年10月20日（日）13:00～17:00
会 場：SCARTS スタジオ
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：杉浦幹男（インディペンデント・ディレクター）
参加料：無料
参加者数：レクチャー45人、グループワーク18人、個別相談会9組

③公募企画事業

（1）SCARTS 企画公募2025

令和7年度に実施する事業の企画を公募した。
募集期間：令和6年7月16日（火）～8月26日（月）
応募件数：32件
採択件数：4件

（2）[令和6年度採択事業] ホネ茶論2024

えぞホネ団 Sapporo は、標本やホネの魅力を発信する有志の団体で、2024年で発足から10年目を迎えた。SCARTS コートでは、「さわれる標本」「あそべる標本」「かんじる標本」をテーマに、様々な標本展示を行った。また、会期中はヒグマやライオン、キリンの骨を並べる「ホネならべ」ワークショップや、生物学者の柝内新を招いての、記念講演会を開催した。透明骨格標本や、家庭でできる標本の作り方マニュアルなどのオリジナル商品も多数販売した。



撮影：小牧寿里

期 日：令和6年7月12日（金）～7月13日（土）
10:00～18:00
会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B
主 催：えぞホネ団 Sapporo、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
入場料：無料
入場者数：1,288人

<関連プログラム>

1. 似ホネ絵

期 日：（受付）令和6年6月15日（土）～7月6日（土）
（受渡）令和6年7月12日（金）10:00～17:30、
7月13日（土）11:00～12:30、15:00～17:30
会 場：SCARTS コート
参加料：1,000円
参加者数：12人

2. ホネならべ

期 日：令和6年7月12日（金）11:00～12:30
会 場：SCARTS コート
参加料：500円
参加者数：8人

3. ホネホネスタンプ de ポストカードづくり

期 日：令和6年7月12日（金）
10:00～18:00（13:00～15:00を除く）
会 場：SCARTS モール A・B
参加料：300円
参加者数：36人

4. グラス彫刻体験(恐竜骨格を彫ってみよう)

期 日：令和6年7月12日（金）、7月13日（土）
10:00～17:00（12:00～13:00を除く）
会 場：SCARTS モール A・B
参加料：1,500円
参加者数：31人

5. 講演会「ホネは生きている」

期 日：令和6年7月13日（土）13:00～15:00
会 場：SCARTS コート
講 師：柝内新（生物学者、元北海道大学教授）
参加料：1,000円
参加者数：30人

（3）[令和6年度採択事業] 命日

植物作家の松井香菜子と芸術家の野沢宏志によるユニット ORNI が、「『命』とは何か」をテーマに、生きる意味と向き合いながら、植物・色・光を用いて、様々な空間を創造した。

期間中はオリジナル花器づくりと生け花のワークショップや、子どもを対象とした花に関するイベントを開催。最終日はダンサーの鈴木明倫とギタリストの山木将平によるユニット「Humming Earth Project」のスペ

札幌文化芸術交流センターに関する事業
②文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

シャルパフォーマンスで展覧会を締めくくった。



撮影：鬼原雄太

期 日：令和6年8月24日（土）～9月1日（日）
11:00～19:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モール

主 催：ORNI、札幌文化芸術交流センター SCARTS
（札幌市芸術文化財団）

後 援：千歳市教育委員会、公立千歳科学技術大学

協 賛：伊藤組100年記念基金、Bar Haven

協 力：青木研究室、公立千歳科学技術大学ライトア
ート工房、札幌ファッションデザイン専門学校
DOREME

入場料：無料

入場者数：2,836人

<関連プログラム>

1. アーティスト・ワークショップ

期 日：令和6年8月25日（日）①12:00～13:30

②15:00～16:30

8月31日（土）③11:00～12:00

④14:30～15:30

9月1日（日）⑤11:00～12:00

⑥14:30～15:30

会 場：SCARTS モールA・B

講 師：①～②松井香菜子（ORNI代表、植物作家）、
野沢宏志（芸術家、教育家）、
③～⑥saku.to & co

参加料：①・②3,000円 ③～⑥2,200円

参加者数：41人

2. アーティスト・パフォーマンス

期 日：令和6年9月1日（日）

12:30～13:50、16:00～17:20

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モールC

出演者：Humming Earth Project

（ダンサー 鈴木明倫、ギタリスト 山木将平）

参加料：無料

参加者数：158人

（4）[令和6年度採択事業]

あわいのいきものたち

絵本作家が見る札幌の都市と自然

札幌の絵本作家たちが集まり、“あわい”（境界）の
世界に存在しているであろう、いるけれど見えないい
きものたちを、見えるように創造したインスタレーショ
ン。都市と自然の境界にある「あわいの世界」を3つ
のテーマに分け、それぞれ光と影を用いて表現した。



撮影：山岸靖司

期 日：令和6年10月12日（土）～10月20日（日）
10:00～18:00

会 場：SCARTS コート

主 催：「あわいのいきものたち」実行委員会、札幌
文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸
術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：札幌人形劇協議会、俊カフェ

入場料：無料

入場者数：1,368人

<関連プログラム>

1. ギャラリートーク

期 日：令和6年10月12日（土）14:00～15:00、
10月20日（日）16:00～17:00

会 場：SCARTS コート

参加者数：100人

2. 『あわいのいきもの』パフォーマンス

期 日：令和6年10月14日（月・祝）11:00～11:30、
10月19日（土）14:00～14:30

会 場：SCARTS コート

市民交流プラザ事業部

主催事業

出演者：石橋玲

参加料：1,500円

参加者数：53人

3. 『あわいのいきもの』 顔はめ影絵お面づくり

期 日：令和6年10月12日（土）11:00～12:30、
10月13日（日）13:00～14:30

会 場：SCARTS スタジオ

参加料：1,000円

参加者数：16人

（5）[令和6年度採択事業]

「INTEG' Lab Festa～音と光で遊ぶ最前線」

音楽を中心に周辺分野における様々な知見や技術をインテグレート（結集・統合）しながら新たな表現を探索し形にすることを目指す、音楽家 北爪裕道主宰の団体、INTEG'Lab（インテグラボ）。本展では「Festa」の名の通り、子どもから大人まで、また音楽家もアーティストも楽しめる様々なイベントを開催した。



撮影：門間友佑

期 日：令和6年12月12日（木）～24日（火）

会 場：SCARTS コート、SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、INTEG'Lab

入場者数：873人

<関連プログラム>

1. 迫真型立体音響による

サウンドインスタレーション展示

期 日：令和6年12月12日（木）～24日（火）
11:00～19:00（最終日は17:00まで）

会 場：SCARTS モールC

演 出：北爪裕道、李珍咏、伊東乾

参加料：無料

参加者数：298人

2. 公演①レーザー×映像×音響が描く空間アート —後藤英『ペンローズの階段』を迎えて—

・作品公演『ペンローズの階段』

期 日：令和6年12月12日（木）～14日（土）

会 場：SCARTS コート

作 家：後藤英（コンセプト、ディレクション、音楽）

参加料：2,000円

参加者数：190人

・ワークショップA「光の魔法！レーザーで遊ぼう！」

期 日：令和6年12月13日（金）16:00～17:00、
14日（土）15:00～16:00

会 場：SCARTS コート

参加料：一般 2,000円、18歳以下 1,000円、
大人2名セット 3,000円

参加者数：51人（オンライン54人）

・ワークショップB「初めてのレーザー体験！光の世界を探る」

期 日：令和6年12月12日（木）19:00～20:00
14日（土）18:30～19:30

会 場：SCARTS コート

参加料：大人 2,000円、学生 1,500円

参加者数：55人（オンライン47人）

・ワークショップC「レーザー技術の最前線を実践！」

期 日：令和6年12月13日（金）18:30～19:30

会 場：SCARTS コート

参加料：大人 3,000円、学生 2,000円

参加者数：5人（オンライン28人）

3. 公演②立体音響を操る 電子音楽演奏法 アコースモニウム 檜垣智也

アコースモニウムレクチャー&リサイタル

期 日：令和6年12月15日（日）16:00～18:00

会 場：SCARTS コート

出演者：檜垣智也（作曲、アコースモニウム）

参加料：大人 3,000円、学生 2,000円

参加者数：25人

・電子音響音楽演奏（アコースモニウム）ワークショップ

会 場：SCARTS コート

講 師：檜垣智也

参加料：8,000円

参加者数：14人

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

- ・電子音響音楽 ファイナルコンサート
ワークショップ参加者たちと檜垣智也によるコンサート
期 日：令和6年12月16日（月）19:00～21:00
会 場：SCARTS コート
講 師：檜垣智也
参加料：一般 3,000円、学生 2,000円
参加者数：35人

4. 公演③本堂誠 サクソフォンマスタークラス

- 期 日：令和6年12月20日（金）12:00～17:00、
21日（土）10:00～13:00、13:30～17:30
会 場：SCARTS コート
講 師：本堂誠
参加料：一般 2,000円、学生 1,500円
参加者数：48人（受講生10人、聴講者38人）

5. 公演④北爪裕道：KYO-EN

- 機械と人間のヴィルトゥオーゾ—
期 日：令和6年12月21日（土）19:00～21:00、
22日（日）12:30～14:30、15:30～17:30
会 場：SCARTS コート
出演者：北爪裕道、本堂誠
聴講料：一般 4,000円、学生 3,000円
参加者数：130人

6. 公演⑤内門卓也

- ピアノ伴奏法マスタークラス
期 日：令和6年12月24日（火）
10:00～12:00、13:00～15:00
会 場：SCARTS コート
講 師：内門卓也
受講料：1グループ 10,000円
聴講料：一般 2,000円、学生 1,500円
参加者数：29人（受講生6人、聴講者23人）

④札幌文化芸術交流センター SCARTS
文化芸術振興助成金交付事業

札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からいただいた寄付を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用益を活用し、札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体または個人による優れた活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術の振興やさらなる発展につなげることを目的として実施した。

(1) 令和5年度 札幌文化芸術交流センター
SCARTS 文化芸術振興助成金交付事
業 活動報告会

令和5年度の助成金採択団体・個人による、活動成果の報告を行った。報告会には審査委員も登壇し、採択者への評価・質疑応答等を行った。



- 期 日：令和6年4月13日（土）10:30～16:30
会 場：SCARTS スタジオ
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
参加料：無料
参加者数：22人

(2) 令和6年度 札幌文化芸術交流センター
SCARTS 文化芸術振興助成金交付事
業 助成金交付決定者説明会・交流会

令和6年度助成対象活動として助成金交付が決定した団体・個人に対し、助成対象活動実施から精算までの事務手続きについて説明を行った。あわせて、各活動を自己紹介形式で発表し、活動のPRと今後の交流に繋げるための交流会を開催した。



- 期 日：令和6年4月22日（月）18:00～20:00
会 場：控室401
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
参加料：無料
参加者数：17人

市民交流プラザ事業部

主催事業

〈令和6年度助成対象活動一覧〉

1. 特別助成事業

- ・KITA8NEXT #1『エンギデモナイ』（一般財団法人田中記念劇場財団）
- ・Farewell 2024「くるみ割り人形」(WE LOVE BALLET実行委員会)

2. 一般助成事業

- ・ちいさなひとのためのオペラ『銀河鉄道の夜』（accie〜ちいさなひとのためのオペラ）
- ・手のひらオペラ No.6「お箏でオペラ《ペロだしちゃんま》」（特定非営利活動法人札幌室内歌劇場）
- ・人形浄瑠璃2024 さっぽろ人形浄瑠璃あしり座三十周年記念公演（さっぽろ人形浄瑠璃あしり座）
- ・朗読×音楽×美術 緑のオウム〜街角には物語が……（福井岳郎）
- ・ダンボールシアター『ちびロボダンダン』こぐま座公演（ダンボールシアター）
- ・PiP「彼女たちの断片」（PiP）
- ・ピリカⅢ 長谷部美恵作曲 創作オペラ「テクノ」～争いや憎しみを乗り越え通い合う心～（陣内麻友美）
- ・なつやすみの「えんげき」実験室 PANCETTA KIDS LAB ゴーシュ（万幌）
- ・Atelier 柴田山「ジロトマッテル」（Atelier 柴田山）
- ・札幌ハムプロジェクト『カラクリヌード』ワークショップ公演（札幌ハムプロジェクト）
- ・演劇ワークショップ上級編 5日間で作る演劇（北海道中学校演劇研究会）
- ・sub-play vol.11『トライアル』（yhs）
- ・nincup ライブ「ハボの物語-STORY OF MOTHER-」（豊川容子）
- ・「百年」を爪弾く・朗読体験ワークショップ（ru企画）
- ・道草しながら帰ろうよ 夢で逢いましょう 昭和レディ・月（青春ダンス集団「昭和レディ」）

(3) 令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業 募集説明会

令和7年度の助成対象活動の募集に向けて、助成金交付事業の概要や昨年度からの変更点などを解説する募集説明会と個別相談会を実施した。



期 日：令和6年11月29日（金）

[募集説明会] 18:00～19:00

11月30日（土）[募集説明会] 13:00～14:00

[個別相談会] 14:00～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：募集説明会46人、個別相談会7組

(4) 令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業 募集

新たな創造活動の可能性を切り拓く、独創性及び先進性に優れた文化芸術活動などを対象とした「特別助成事業」と、地域における実演芸術の発表や展覧会など多様な文化芸術活動などを対象とした「一般助成事業」の2つの区分で、令和7年度に実施する活動の募集を行った。

期 日：令和6年12月1日（日）～

令和7年1月10日（金）（申請受付期間）

申請件数：特別助成事業18件、一般助成事業88件

(5) 令和7年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業 審査委員会

令和6年度中に申請された活動の中から、令和7年度の助成対象活動として採択するものを選考する委員会を実施した。



期 日：令和7年2月18日（火）13:30～17:30
 会 場：札幌市民交流プラザ ミーティングルーム1・2
 主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

(6) 令和6年度 札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業 活動報告会

令和6年度の助成金採択団体・個人による、活動成果の報告を行った。報告会には審査委員も登壇し、採択者への評価・質疑応答等も行った。



期 日：令和7年3月29日（土）
 [報告会] 13:00～17:00
 [交流会] 17:00～18:00
 会 場：SCARTS スタジオ
 主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
 参加料：無料
 参加者数：32人

広報・利用促進に関する事業

1 広報

① 広報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民の市民交流プラザへの理解と支持を得るため、広報誌「wave times⁺（ウェーブタイムスプラス）」（冊子版、WEB マガジン版）を発行し、市民交流プラザの取り組みを広く周知した。劇場事業課、センター事業課及び札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザの広報を一体的に行った。

(1) 広報誌「wave times⁺」

市民交流プラザの広報誌「wave times⁺」を6回（奇数月20日）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。また、財団施設間連携の一環として、当財団が管理する他の5施設のイベントをピックアップして紹介した。

(2) パンフレット広告枠の活用

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーや、大通駅コンコース札幌丸井三越地下2階入口前のパンフレットラック等にて、広報誌「wave times⁺」を配架した。

(3) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページでは主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く市民交流プラザの周知を図るとともに、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の翻訳に対応し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX 8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

令和6年度公式ホームページアクセス数：1,622,751件
 令和6年度市民交流プラザメンバーズ

ホームページアクセス数：130,527件

また、X、Facebook、InstagramといったSNSも活用し、即時性のあるトピック、広報誌やチラシだけ

市民交流プラザ事業部

主催事業

では伝わりにくい公演や事業の詳細な発信を行った。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行った。

③市民交流プラザのブランディング

圏域住民や利用者に対し、市民交流プラザの魅力やアクセス方法の認知度を高めるために、グッズの作成や屋外広告掲出などを行った。また、市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ（無料）掲載などへの対応及び市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い、周知やチケット販売促進につなげた。

④その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺のにぎわい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぼMAP」や「ホテルグルメ特集」などの広報物を作成した。

（１）「創成おさんぼMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店（85店）を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ（DM会員）に送付したほか、協力店舗や市民交流プラザ館内及び札幌観光案内所等の各所で配架した。また、利用促進のため、SNSを活用した「#おさんぼMAPキャンペーン」を実施した。

（２）「ホテル グルメ特集」

「創成おさんぼMAP」に掲載のホテルについて、メンバーズ会員証の提示で受けられる特典をまとめた「ホテル グルメ特集」を年3回発行し、メンバーズ（DM会員）への送付や、市民交流プラザ館内各所に配架したほか、メンバーズ（WEB会員）にはピックアップ情報として定期的にメールマガジンを送付した。

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、ホームページで施設の空き状況などの施設利用に関する情報を提供したほか、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を促進した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、令和7年3月末までにWEB会員53,536人、DM会員582人、計54,118人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員向け。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員向け。原則奇数月）
- ・札幌文化芸術劇場 hitaru 主催公演等のチケット先行発売
- ・市民交流プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和6年度のスポンサーとして、法人105社、個人48人、計153件（現金8,678万円、広告2,830万円相当）の協賛を獲得した。